

コラム～安全だより～



東京は雪が少ないですが、大気の状態によって大雪になったり、路面の凍結は起こります。降った日より、翌日や翌々日の朝晩、凍結による転倒が増えます。

令和7年1月（通算第145号）
発行：
公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

令和5年度の雪による事故報告は12件！ 降った後の凍結に注意しよう



令和5年度の事件事例



<経路途中・行き>

就業場所に向かうために校庭の裏にある側道を歩いていたところ、溶けかけていた雪の上で滑って転倒。滑り止め付きの安全靴を履いていたこともあり、大丈夫だと思っていた。

<就業中>

マンション入り口横の駐車場で清掃中、前日の雪が凍結していたところで足を滑らせ、転倒。

<経路途中・帰り>

積雪のある中、自転車を押して帰宅している際、滑って転びそうになったため、足を踏ん張ったところ、左ひざに過度な負担がかかり、痛みが走った。

<就業中>

送迎時に雪で転びそうになった児童を支えようとした会員が、バランスを崩して転倒。

東京都心で2024年1月から3月の間に雪が降ったのは、1月13日、2月5日、3月7日から8日にかけての3回で、降雪量が多かったのは2月5日の8センチでした。2022年1月の大雪の際は40件を超える事故が起きました。

- 降雨・降雪の水分により路面が凍結する可能性があります。
- 屋外での作業、経路途中は路面凍結によるスリップに注意してください。
- 気象状況に応じ、就業日時の変更を検討してください。



屋外での注意点



雪やみぞれ、路面の凍結が予想される日は自転車に乗らない



積雪時にはスノーブーツや滑り止め付きの靴を履き、小さな歩幅で靴の裏全体を地面につけて歩くようにする（滑り止め付きの靴でも、靴裏がすり減っていないか、確認してから履きましょう）



両手が自由になるようにリュックサックやショルダータイプのバッグを選ぶ



降雪当日よりも翌日・翌々日の凍結に注意する



日中でも日陰は溶け残っていることがあるので注意する



靴に巻き付けるタイプのゴム製簡易スパイク（滑り止め）もおすすめ。丸めればポケットに入り、取り付けカンタン。